

評価・標準化研究会

(会長：飯倉善和 (弘前大学)、幹事：筒井健 (NTTデータ))

本研究会では、各種の衛星画像処理手法の標準化や用語の統一を進めています。特に、衛星画像の利用を推進するために必要な精密補正手法（幾何補正や地形効果補正等）の標準化を行なうとともに、誰もが自分の処理手法を評価できる評価方法の標準化や標準データセットの充実を通じて会員の研究と実利用を支援していきたいと考えています。

ポスター：第48回学術講演会（20010.5.27~28）で掲示（衛星画像処理の評価・標準化によるリモートセンシング利用の推進）